

CASBEE-建築(新築)2014年版
 平成27年度事業 公営住宅高松団地建築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40		-			3.3
1 音環境		-	0.15	3.6	1.00			3.6
1.1 騒音		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		-	-	4.3	0.50			
1 開口部遮音性能	サッシュの遮音性能等級:T-2	-	-	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	D数の予測式より、界壁長さ加重平均Dr=50以上	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	発泡プラスチック系床下地材:Lr=45	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	発泡プラスチック系床下地材:Lr=50	-	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		-	0.35	2.9	1.00			2.9
2.1 室温制御		-	-	3.7	0.50			
1 室温		-	-	3.0	0.63			
2 外皮性能	断熱等性能等級:等級4	-	-	5.0	0.38			
3 ソーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御	除湿機能+熱橋部等の結露防止対策	-	-	4.0	0.20			
2.3 空調方式		-	-	1.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.2	1.00			3.2
3.1 屋光利用		3.0	1.00	2.5	0.50			
1 屋光率		-	-	2.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50			
1 屋光制御	カーテン+庇によりグレアを制御	-	-	4.0	1.00			
3.3 照度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		-	-	-	-			
4 空気質環境		-	0.25	4.0	1.00			4.0
4.1 発生源対策		-	-	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用	-	-	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		-	-	4.0	0.38			
1 換気量	基準法の1.4倍以上の換気量を確保	-	-	5.0	0.33			
2 自然換気性能	居室床面積の1/8以上の開口可能な窓を確保	-	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		2.4	0.40	3.2	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	各住戸で100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能	-	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級(構造躯体等):等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	浴室用ダクトは、塩ビダクトを採用	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化+浸水の恐れなし+CATVの受信	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	2.9m ≤ 基準階高: 2.9m < 3.0m	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級: 等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.90	4.9	0.50	-	-	4.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)			-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)		高効率照明器具の採用	4.9	1.00	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマ+省水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		密粒度アスファルト混合物、再生粒度調整砕石、再生クワッシュラン(路盤材)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=1の発泡断熱材を採用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=55%	4.8	0.33	-	-	4.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車・駐輪場、荷捌きスペースの確保、導入路への配慮	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	